

## IV-1 北海道

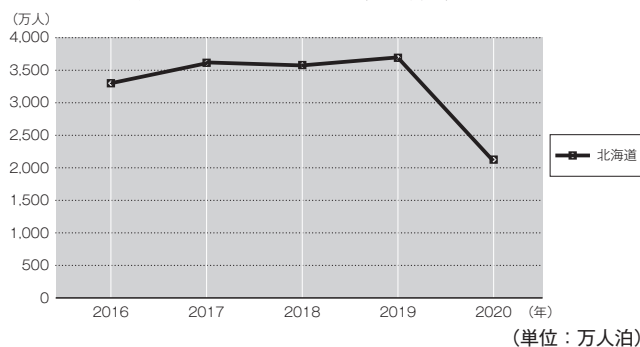
新型コロナウイルス感染症の影響で延宿泊者数半減  
ピーチが成田－釧路線、成田－女満別線を就航  
「さっぽろ雪まつり」オンライン開催

## (1) 都道府県レベルの旅行者動向

観光庁「宿泊旅行統計調査」によると2020年1月から12月の北海道の延べ宿泊者数は2,144万人泊となり、前年から42.0%の減少を記録した。減少幅は、大阪府、東京都などのゴールデンルート上の府県や沖縄県、福岡県などに次ぐ14番目の大きさとなり、新型コロナウイルス感染症の入国規制による訪日外国人旅行者の減少が大きく影響したことがうかがえる。なお都道府県別の順位では2017年以來3年ぶりに東京都に次ぐ2位に返り咲く結果となった。

外国人延べ宿泊者数は対前年マイナス76.7%の2,050千人泊となった。北海道の外国人延べ宿泊者数が2,000千人規模となるのは、2,198千人だった2008年以來のことであり、新型コロナウイルス感染症の影響による需要の後退が顕著となった。なお、都道府県別の順位では東京都、大阪府に次ぐ3位となった。

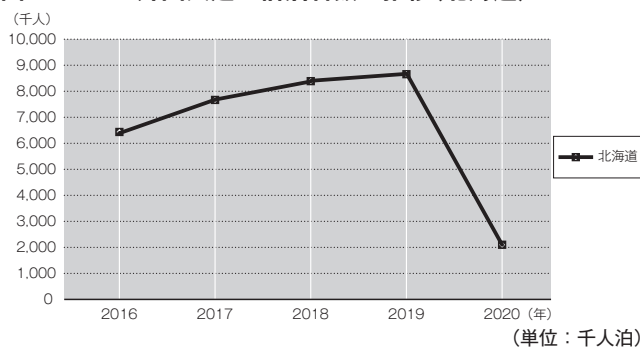
図IV-1-1 延べ宿泊者数の推移(北海道)



都道府県名	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
北海道	3,355	3,556	3,531	3,698	2,144

資料：観光庁「令和2年宿泊旅行統計調査」をもとに(公財)日本交通公社作成

図IV-1-2 外国人延べ宿泊者数の推移(北海道)



都道府県名	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
北海道	6,554	7,702	8,335	8,805	2,050

資料：観光庁「令和2年宿泊旅行統計調査」をもとに(公財)日本交通公社作成

また、北海道の「観光入込客数調査」(北海道庁)でも2020年の延べ宿泊者数は対前年でマイナス46.0%の2,084万人泊となった。白老町の民族共生象徴空間「ウポポイ」(白老町)のオープンなど好材料はあったものの、新型コロナウイルス感染症の影響が全道に波及し、いずれの圏域も30%台後半から50%前後の大幅なマイナスを記録した。月別でも対前年でプラスとなったのは1月の道央圏域と11月の道南圏域のみであり、2月末に北海道が独自の緊急事態宣言を発令して以降は対前年でマイナス60%から80%後半という大幅な減少となった。

ただし、7月に「どうみん割」事業が開始されると減少幅は縮小に転じ、10月には対前年マイナス9.9%にまで改善した。特に道南圏域やオホーツク圏域では10月、11月と2ヶ月連続で対前年のマイナス幅が1桁台となっており、旅行需要が下げ止まったことがうかがえる結果となった。なお、12月は新型コロナウイルス感染症の第3波の影響から再び、対前年でマイナス30%から50%代後半を記録している。

外国人の延べ宿泊者数は、国籍・地域別の延べ宿泊者数で首位の中国が対前年マイナス77.4%、2位の台湾が同マイナス82.3%となり、軒並み大幅な減少となった。近年、成長著しい東南アジア市場も一様に対前年でマイナス70%から80%を記録している。

表IV-1-1 道内の圏域別延べ宿泊者数の増減

(単位：万人泊) (単位：%)

	2019年	2020年	前年比増減
北海道	3,859	2,084	△46.0
道央圏域	2,279	1,230	△46.0
道南圏域	482	232	△51.9
道北圏域	476	250	△47.5
オホーツク圏域	186	114	△38.5
十勝圏域	221	138	△37.3
釧路・根室圏域	214	119	△44.4

資料：北海道「観光入込客数調査」をもとに(公財)日本交通公社作成

表IV-1-2 道内の国籍・地域別延べ宿泊者数の増減

(単位：千人泊) (単位：%)

	2019年	2020年	前年比増減
全国籍	8,534	1,926	△77.4
中国	2,259	567	△74.9
台湾	1,737	307	△82.3
オーストラリア	309	185	△40.1
香港	725	163	△77.5
タイ	572	159	△72.3
アメリカ	242	89	△63.3
シンガポール	431	69	△84.1
韓国	1,125	62	△94.5
マレーシア	275	51	△81.5
インドネシア	113	29	△74.3
その他	746	246	△67.0

資料：北海道「観光入込客数調査」をもとに(公財)日本交通公社作成

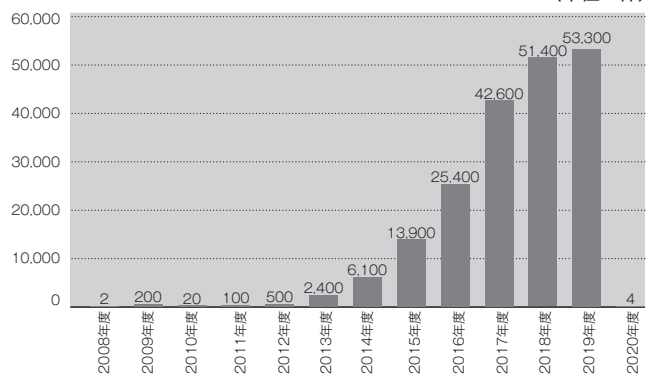
アジア以外では、冬季に来道需要が集中し、20年1月と2月の減少が小幅だったオーストラリアが対前年マイナス40.1%と比較的小幅な減少に留まった。その結果、国・地域別の延宿泊者数は香港、タイ、シンガポールを抜いて3位に浮上している。

(2) 観光地の主な動向

●外国人旅行者による高速道路の利用動向

東日本高速道路株式会社によれば、新型コロナウイルスの感染拡大により2020年4月8日から同社が販売する訪日外国人限定の高速道路乗り放題パス「Hokkaido Expressway Pass」の新規申込受付を停止した。そのため2020年度の実績は4件となった。なお、4件はいずれも台湾の利用者であった。

図IV-1-3 「Hokkaido Expressway Pass」の販売実績 (単位：件)



資料：東日本高速道路株式会社資料をもとに(公財)日本交通公社作成

●どうみん割

北海道は2020年7月から、道民の道内旅行について、1人1回最大1万円を補助する「どうみん割」キャンペーンを開始した。県単位の補助制度としては最大規模となる23億円の予算が準備され、2021年1月まで宿泊、交通付き宿泊商品、交通付き日帰り商品、アウトドア体験商品が割引対象となった。また、当該事業が好評だったことを受け、その後、北海道は後継事業となる「どうみん割ぶらす」と「りとうぶらす」を企画し第一弾を上回る26億円の予算を準備した。しかしながら、「りとうぶらす」は2020年10月より事業が開始されたものの、「どうみん割ぶらす」については緊急事態宣言を受け実質上の事業停止に追い込まれた。

その後、2021年4月より感染防止対策を徹底した新しい旅行の形態を普及・定着させることを目的とした「新しい旅のスタイル」事業が、感染拡大が際立っていた札幌市を除外する形で開始された。人数と泊数を制限し北海道内の6つの圏域に区分し、同一圏域内の旅行を支援するという特徴的な制度設計であったが、2021年5月には感染拡大を受け札幌市以外についても事業休止となっている。

表IV-1-3 「新しい旅のスタイル」制度概要

	「新しい旅のスタイル」事業	備考
人数制限	1名利用または同居人との利用限定	「どうみん割」では制限なし
泊数制限	1旅行あたりの泊数の上限は2泊まで	「どうみん割」では5泊まで
対象	道民による道内旅行	
割引金額	最大半額(離島宿泊は上限1万2千円、その他は1万円)	「どうみん割」では宿泊上限1万円(価格帯による累進制)、日帰りは上限5千円
対象圏域	対象圏域内のみ旅行限定 〔札幌市〕札幌市内、〔道央①〕石狩・空知、〔道央②〕後志・胆振・日高、〔道南〕渡島・檜山、〔道北〕上川・留萌・宗谷、〔道東〕オホーツク・十勝・釧路・根室	「どうみん割」では制限なし

資料：(公財)日本交通公社作成

図IV-1-4 「新しい旅のスタイル」

新しい旅のスタイルを守りましょう。

食事の会話は、  
感染リスクを高めます。

入浴中の会話は、  
感染リスクを高めます。

いつもと違う場所には、  
いつも一睡のひとと。

身近な場所で、  
楽しくすごそう。

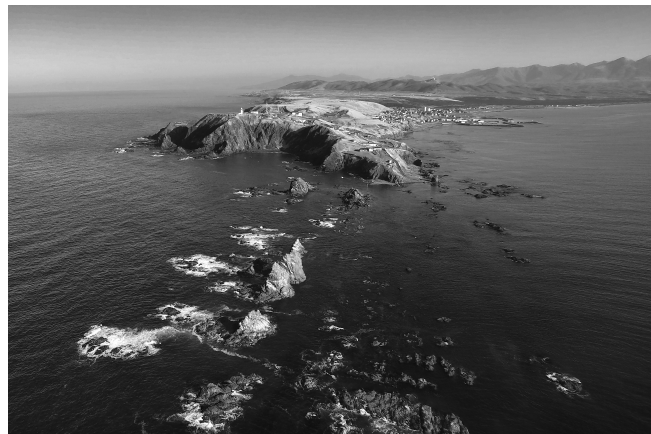
提供：公益社団法人北海道観光振興機構

●国立公園、国定公園の再編進む

2021年3月、道内6番目の国定公園となる「厚岸霧多布昆布森国定公園」が誕生した。道内での指定は、1990年の暑寒別天売焼尻国定公園以来31年ぶりのことで、厚岸道立自然公園のエリアに周辺の別寒辺牛湿原等を加える形で国定公園への格上げが実現した。

また、1市11町1村にまたがり、国定公園としては国内最大の面積をほこる日高山脈襟裳国定公園は環境省より2010年に国立公園指定候補地に選ばれており、最速で2021年度中に国立公園化される予定となっている。既に2021年2月には「日高山脈襟裳地域の国立公園指定に関する関係自治体連絡会」が関係市町村によって設立されているほか、2021年4月には大雪山国立公園管理事務所上士幌管理官事務所(上士幌町)に併設される形で帯広自然保護官事務所が設置され、2021年6月に帯広市内に移転するなど、国立公園化に向けた体制整備が進んでいる。

図IV-1-5 日高山脈襟裳国定公園



提供：えりも町

### ●道東エリアにLCCが新規路線

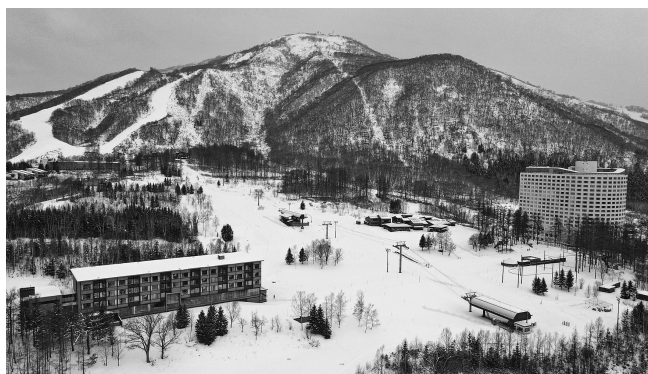
ピーチ・アビエーションは2018年の関西－釧路に続き2020年8月、成田－釧路線を開設した。また、これに続き、2021年2月には成田－女満別線を開設した。いずれも1日1往復のデイリー運航で、女満別線は同空港初のLCC路線となった。阿寒摩周国立公園やオホーツクの流水観光、世界遺産・知床半島への誘客拡大が見込まれる。

### ●ニセコエリアヘラグジュアリーホテルが多数進出

2020年1月、100室の「パーク・ハイアットホテル」と113室の「パーク・ハイアットレジデンス」からなるラグジュアリーホテル「パーク ハイアット ニセコ HANAZONO」が倶知安町にオープンした。また、2020年12月には世界最大のホテルチェーン、マリオット・インターナショナルが、同社の最上級ブランドである「リッツ・カールトン・リザーブ」の日本1号店「東山ニセコビレッジ・リッツ・カールトン・リザーブ」をニセコ町東山地区に開業した。客室数は50室で、ニセコビレッジスキーリゾートのゲレンデと直結し、スキーイン、スキーアウトが可能となっている。

ニセコエリアでは、藻岩山の中腹に30室のゲストルーム、31棟の独立型レジデンス、アクティビティセンターなどを備えた「アマン ニセコ」のオープンが2023年に控えており、ラグジュアリーホテルの進出ラッシュが続いている。

#### 図IV-1-6 ニセコビレッジスキーリゾート



提供：ニセコ町

### ●道の駅のオープン続く

2020年3月、留萌市の道の駅「るもい」と上士幌町の道の駅「かみしほろ」がそれぞれ新規登録となったのに続き、2016年に開業した音更町のガーデンスパ十勝川温泉が2020年7月に新たに道の駅として登録された。さらに2021年5月には士別市に道の駅「羊のまち侍・しべつ」がオープンし、道内の道の駅は全国最多の129件となった。

ここ数年、北海道では道の駅の新設や新規登録が続いており、2019年4月以降に登録された59件の道の駅のうち北海道での登録が実に8件を占めている。

### ●「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産登録決定

国連教育科学文化機関(ユネスコ)の世界遺産委員会は2021年7月27日、日本の「北海道・北東北の縄文遺跡群」を世界文化遺産に登録することを決めた。世界文化遺産はこれで計20件となり、紀元前の遺跡としては初めての登録となる。北海道からはキウス周堤墓群(千歳市)、北黄金貝塚(伊達市)、入江・高砂貝塚(洞爺湖町)、垣ノ島遺跡・大船遺跡(函館市)の5箇所が構成資産に含まれている。

### (3)市町村の動き

#### ●札幌市:雪まつりを初めてオンラインで開催

札幌市や一般社団法人札幌観光協会などで構成されるさっぽろ雪まつり実行委員会は、2021年2月、「さっぽろ雪まつり」を史上初めてのオンラインで開催した。「オンラインさっぽろ雪まつり2021～みんなで作る雪まつり～」と題した同イベントでは、写真投稿コンテスト「さっぽろ雪フォトまつり」や、「雪像制作レポート」に加え、過去の雪まつりの貴重な動画や会場の360°ビューを配信する「さっぽろ雪まつり大歴史展」など多彩なコンテンツが提供された。企業との連携企画「みんなと雪まつり」では、札幌観光バス株式会社と株式会社ダウンゴが協力して札幌市内を巡るオンラインバスツアーの配信がニコニコ生放送で行われたほか、バーチャルSNS「Cluster」上に大通公園と雪像を配置した「VR雪まつり会場」を制作し、自由にVR雪像を鑑賞したりVR雪像づくりに応募したりできるバーチャル雪まつり「V雪」が開催された。コロナ禍の新しいイベントのあり方を模索する動きとして注目される。

#### 図IV-1-7 オンラインさっぽろ雪まつり2021



ゆきまつり:バーチャル雪まつり2021ホームページより許可を得て転載

### ●函館市:重要文化財「旧函館区公会堂」リニューアル

耐震化や老朽化対策のための改修工事が進められていた国指定重要文化財の「旧函館区公会堂」が2021年4月リニューアルオープンした。改修に合わせ、館内ではスマートフォン等向けると画面上に建物や調度品の解説が表示される拡張現実(AR)技術が導入され、多言語にも対応した。

#### 図IV-1-8 旧函館区公会堂



提供:函館市



提供:旧函館区公会堂

### ●ニセコ町:「グリーンデスティネーションズ」のトップ100に選出

2020年10月、ニセコ町が、持続可能な観光の国際的な認証団体グリーン・デスティネーションズの「TOP 100 Destinations」に選出された。グリーン・デスティネーションズは世界持続可能観光協議会(GSTC)が開発した国際的な指標の認証団体の1つであり、ニセコ町はGSTCに基づいた日本独自のガイドラインを策定する観光庁事業「日本版持続可能な観光ガイドライン」のモデル地区に選ばれていた。グリーン・デスティネーションズは100項目からなる基準を設けており、特に重要な30項目のうちの15以上の項目に対する取り組みについて特に高い評価を得られた地域が「TOP 100 Destinations」に選出された。

### ●美瑛町:青い池の駐車場を有料化

町内有数の人気観光スポットである「青い池」併設の駐車場が2020年4月、有料化された。マイカー、レンタカーの総量規制や町内への経済効果の還元、自然環境や景観保全のための財源確保等を目的とした施策として、2018年に策定された「観光マスタープラン2020」に明記されていた。料金は一般車両が500円、オートバイが100円、マイクロバス1,000円、大型バス2,000円でコロナ禍にもかかわらず2020年は約7,800万円の駐車場収入を集めた。

(北海道大学 石黒侑介)

#### 図IV-1-9 青い池の駐車場有料化



提供:美瑛町